



しほろ

平成24年 8月 No.145

議会だより

■発行／士幌町議会 ■編集／士幌町議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



笑顔と笑い声があふれ、みんなで楽しんだ夏祭り

審議した議案

条例の一部改正ほか 2ページ

一般質問

「7%節電について」ほか6件 4ページ

委員会調査報告

..... 7ページ

教育委員会の分掌事務について

かけ橋

「特別委員会設置で商店街の活性化を」

士幌町商工会 会長 中村 貢さん 8ページ



こども園夏祭り(7月13日)

平成24年
第2回
定例会

5月上旬の大雨被害 町内40カ所を超える 災害復旧費2888万円 補正を可決



5月の大雨による路肩洗掘被害（開運地区）

第2回定例会が、6月14日から21日までの会期で開会。

初日は、町行政報告、教育行政報告、例月出納検査報告、常任委員会所管事務調査報告ほか3件の報告後、条例改正3件を審議。

18日は、議員5名から7件の一般質問が行われた後、一般議案および人事案件を審議。

19日は、一般会計、事業会計補正予算のほか意見書5件を審議。

すべての議案を原案とおり可決した。主な審議内容は次のとおり。

条例改正

●外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部の改正により外国人住民が住民基本台帳に記録されることとなるため、次の4条例中の外国人住民に関する規定の整備を行うもの（施行日平成24年7月9日）

○印鑑登録及び証明に関する条例

○火葬場条例

○重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例

○乳幼児等医療費の助成に関する条例

■年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ部分の廃止により、保育料へ与える影響を可能な限り生じさせないよう次の2条例中の関係附則を改正するもの。（公布の日から施行し、平成24年4月1日から適用）

○認定こども園条例

○保育の実施に関する条例

第2回定例会で審議・可決等された案件

意見書	議案等	報告	件名	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書 ・地方財政の充実・強化を求める意見書 ・北海道地域最低賃金の改善を求める意見書 ・森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書 	<ul style="list-style-type: none"> ●各会計補正予算 ●一般会計（第1号） ●国民健康保険病院事業会計（第1号） ●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書 	<ul style="list-style-type: none"> ●条例改正 ●印鑑登録及び証明に関する条例 ●火葬場条例等 ●認定こども園条例等 ●人事、一般 ●農業共済事業運営協議会委員の委嘱 ●辺地総合整備計画の策定 ●農業共済事業農作物共済危険段階基準共済掛金率等の設定 ●議員派遣の件 	<ul style="list-style-type: none"> ●町長行政報告 ●教育行政報告 ●例月出納検査報告 ●平成23年度一般会計繰越明許費繰越計算書 ●株式会社土幌町物産振興公社の経営状況の報告 ●株式会社ペリオーレの経営状況の報告 ●総務文教常任委員会所管事務調査報告 	<ul style="list-style-type: none"> 原案可決 原案可決 同意可決 原案可決 原案可決 報告了承
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃

人事の選任

● 農業共済事業運営協議会委員

前任者の退任に伴い、西部正さん（平和）の選任に同意。

一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ6475万4千円を追加し、総額63億4675万4千円とする補正予算を可決。

主な補正内容は次のとおりです。

- 住宅用太陽光発電システム導入事業助成金 420万円
- バスタッチ時計取替工事 70万円
- 介護保険施設等車両整備補助金 233万円
- 児童手当費管理システム導入委託料 342万円
- 農業振興地域整備計画策定基礎調査委託料 179万円
- 農業者戸別所得補償制度推進事業補助金 97万円
- 畜産飼料品質確保緊急対策

傍聴者の皆さんに聞きました！

第2回定例会では、23名の方に傍聴いただきました。アンケートにお答えいただいた内容を一部要約してご紹介します。（回答者数 10名）

- 最近は質問者が多くなり、町政に反映されつつあると思う。議員を選んだ町民ももっと傍聴すべきと思う。（70代女性）
- 町民に関心を持ってもらえる距離の近い開かれた議会になる事を望む。（60代男性）

事業助成金 163万
 ● 中学校雨漏り修繕工事 79万円

● サッカー場防球ネット設置工事 110万円

● 災害復旧費

● 重機借上料 1090万円

● 道路災害復旧工事 1680万円

● 道路補修用原材料費 118万円

北海道町村議会議員研修会に参加

7月3日、札幌コンベンションセンターにおいて、全道144町村の議員を対象とし研修会が開催された。

講師の明治大学教授 牛山久仁彦氏が「議会改革の展望と課題」、外交ジャーナリスト・慶應義塾大学教授 手嶋龍一氏が「世界の中の日本・アジアの中の日本」～日本の外交戦略を探る～と題して講演され、参加した議員は、今後の議会活動に向けて研鑽を深めた。



研修会会場にて（7月3日）

3月定例会以降の経過について、小林康雄町長より報告がありましたので、要約してお知らせします。

大 雨被害額 2888万円

5月3日から5日にかけての大雨による被害は、河川・明渠排水路の法面崩壊、

町道等の路面洗掘・路肩決壊など40力所を超え、復旧費は2888万円になった。これらの復旧工事等は町単独費で行う。

交通安全対策

高齢運転者の運転技能確認を管内の自動車学校の協力を得て実施するなど、今後の事故防止対策を、本年4月に再編された「土幌町生活安全推進協議会」や帯広警察署など、関係機関と連携のもと強力に推進する。

国 営かんがい排水事業 本年度採択

富秋土幌川下流地区、土幌

行政報告

西部地区の事業が調査設計から着手する予定。本事業の完成により周辺農地への湛水被害が解消され農業生産性の向上と農業経営の安定に資する効果が大きい事業であり、これから関係機関に事業の早期完成に向け要請していく。

簡 易水道の整備

土幌、中土幌市街を含む本町の中央部分を縦断する地域を整備しているが、本年度は井戸の残り1井を掘削し、配水池の電気設備工事と配水管路の敷設工事を計画。

消 防広域化 たたき台確認

6月4日開催の十勝圏複合事務組合市町村長会議において、消防救急無線のデジタル化の共同整備時期である平成28年4月に、管内6消防本部を1つに統合するなどとした、今後の調整のたたき台を確認した。

- 大西 米明議員 ・ 7%節電について ・ 職員の再任用について
- 清水 秀雄議員 ・ 住宅リフォーム助成について
- 和田 鶴三議員 ・ 乳幼児医療費無料化について
- 細井 文次議員 ・ 学校に於ける不審者対策及び危機管理
- 秋間 紘一議員 ・ 土幌町国民健康保険病院の運営について ・ 障がい者専用総合施設の建設について

公共施設の節電対策と 町民への周知は さらに積極的に取り組む



大西米明 議員

質問 今年の夏に電力不足が懸念されており、政府は北海道内の節電目標を平成22年度比7%以上減とし、節電を要する期間と時間帯が示された。役場など公共施設の節電対策と町民に対する周知について伺う。

小林町長答弁 役場など公共施設での節電対策としては、取り組み期間は北海道と同じく7月2日から9月28日までとし、節電内容は照明灯の減灯、パソコン及びコピー機の待機電源オフ、冷蔵庫の温度設定調整、白熱電球のLED化、自動ドアの一部開放、駐車場及び街

路燈の減灯などで、今後において取り組み可能な事項について積極的に取り組んでいきたい。

町民への周知については、広報紙・役場だよりで、役場など公共施設での節電取り組み

路燈の減灯などで、今後において取り組み可能な事項について積極的に取り組んでいきたい。



庁舎内照明灯の減灯

みを紹介するとともに、町民の皆様にも節電にご協力をいただくよう周知をする。町はもとより一般家庭、各

再任用制度をどのように 運用していくか

地域の状況も踏まえ議会とも検討したい

大西米明 議員

質問 職員の再任用に関する条例が平成14年4月1日に施行されたが、当時の社会情勢をかんがみ、本町では運用を10年間で凍結した。10年が過ぎ、今後どのように運用するのか。

小林町長答弁 年金支給年齢が60歳から65歳に引き上げられることに伴い、雇用と年金を接続することは任命権者としての責務であると認識をしているところであり、国の動向や地域状況も踏まえながら、再任用の運用を含めて検討したい。

質問 問題としては、職場の士気が下がる、給与の増加につながる、若い世代の就職に影響が出る、そういう不

種団体、事業所などにご協力をいただきながら、計画停電、緊急停電が回避されるよう、節電に取り組んでいきたい。

安事項がいろいろあると思うのでよく精査して議会に提案してほしい。

小林町長答弁 検討委員会を組織して具体的な検討を行い実施要綱を定めて、議会と年度内に協議させていただきたい。



平成24年 第2回定例会

一般質問

6月定例会では、5人の議員が一般質問にたち、7項目について理事者の考えをたどりました。その内容を要約し、お知らせします。

対象を広げ住民要望に
応える方策を
経済効果上がるなら来年度実施に向け検討



議員 清水秀雄

質問 住宅リフォームを

行う場合に経費の一部を助成することによって町内の関連産業を中心とした幅広い経済波及効果が得られるものと考えられる。創設に向けて町長の所見を伺う。

小林町長答弁

本町における建築関係の業種構造から町内における経済の循環効果がどの程度あるのかとの疑問もある。本年度から空き地、空き家の利活用も含む住宅対策を推進していくが、その一環として住宅リフォーム助成についても経済効果上がる方策について商工会などと検討したい。



リフォーム中の住宅

質問 対象を広げて、個人で建設事業を行っている人たちの意見も聞き、住民要望に添えていく方策も検討すべきである。

小林町長答弁

経済効果が、循環する形でやれるのかどうか町としてもよく検討し、経済効果が上がるといふことであれば来年度に向けて実施の検討をしたい。

平成25年度から拡大する方向で検討
乳幼児等の医療費無料化を



議員 和田鶴三

質問 本町は条件つきで

乳幼児医療の一部無料化を行っているが、その内容は。小児入院、通院とも小学生までを対象として、3歳児未満及び町民税非課税世帯については無料、3歳以上町民税課税世帯については1割負担となっている。

小林町長答弁

子育て支援を充実させることが喫緊の施策と考えるが、義務教育終了まで無料化した場合、本町の持ち出しはどのくらいになるのか。

小林町長答弁

所得制限無しで試算すると約1200万円の支出増が見込まれる。子育て支援対策については医療費助成だけでなく、



拡大が望まれる子育て支援

本町においては認定こども園、へき地保育所への支援、支援児保育士の加配、子育て支援祝い金、不妊治療費扶助など4200万円を超える町単独事業による子育て支援を行っているが、医療費助成は十勝管内町村においても支給拡大の傾向にあり、平成25年度から給付を拡大する方向で検討したい。

学校における 不審者対策等危機管理は

危機管理マニュアルの再確認と対応の徹底



議員 細井文次

質問 本町では、各学校における不審者対策及び危機管理マニュアルの徹底がなされているのか。

カ石教育委員長答弁 小学校、高校とも危機管理マニュアルが作成されており、不審者対応のマニュアルについても全校で作成され、教職員の共通理解と意識の高揚を図り対策に努めている。音更町で発生した事件を受け対策を協議し、学校内はすべて施錠し、特に来訪者玄関を特定してインターホンを設置すること、施設内の鍵を点検し改修を要するものは早急に対応することとした。さらに、危機管理マニュアルに基づいた行動を再確認することも、平

常時における防犯教育等に取り組むことを指示した。各学校においては、来訪者が使用する校舎玄関の施錠の徹底と不審者侵入を想定した防犯訓練を警察署の協力を得て定期的に行うことなど、各校長に要請した。

質問 学校来訪者に対して教職員はどのように今まで接してこられたのか。

カ石教育委員長答弁 基本的には、不審者対応の危機管理マニュアルに沿って来訪者



各校に設置されるカメラ付インターホン

玄関で対応し安易に校内に入れないこととしている。
神野教育長答弁 今後は玄関の施錠を徹底することを確

認したが、インターホンの設置がない学校については早急に補正予算により整備をしていきたい。

障がい者専用総合施設の建設を

年度内に方向を示したい



議員 秋間 紘一

質問 地域活動支援センターに新たに就労継続支援B型事業所の指定を受け、ホーム共同作業所を併設したが、利用者が増加する傾向にあり非常に狭い施設のため効率的サービスが難しくなっている。

小林町長答弁 それらの課題に対応すべく施設整備の検討を行う。施設の建設は新しい支援法の内容を踏まえ、施設の内容、規模などと併せて財源対策も含め調査検討を重ね年度内に今後の方向を示したい。

カ石教育委員長答弁 第3期障害者福祉計画で施設整備の検討を始めること記載されているが、どのような施設を想定しているか。今後障害者が生涯にわたり安全で安心して生活が営めるケアホーム等を含めた障害者専用総合施設を早急に建設してはどうか。

質問 障害のある方が地域で自然に生活し、安心して暮らせるまちづくりをする上でも複合型の総合施設が必要である。そこで、完成予定をいつ頃に想定し調査を行っていくのか。
小林町長答弁 町としては新しい複合的な施設を整備をする方向で検討し、26年度ぐらいまでには整備できる目途で取り組んでいきたい。

議会 日誌

3日	「4月」	広報特別委員会
5日		生活安全推進協議会設立総会
10日		TPP講演会
13日		広報特別委員会
22日		とちぎTPPセミナー
23日		十勝町村議会議長会定例会
24日		総務文教常任委員会所管事務調査
24日	「5月」	広報特別委員会
15日		土幌町商工会通常総会
22日		十勝圏活性化推進期成会定期総会
23日		東日本大震災支援協議会
24日		総務文教常任委員会所管事務調査
31日		土幌町観光協会定期総会
		十勝林活議連協議会総会
	「6月」	
5日		北海道町村議会議長会定期総会
11日		議会運営委員会
12日		総務文教常任委員会
14日		土幌農協通常総会
		第2回定例議会(19日)
		全員協議会
28日		総務文教常任委員会
		産業厚生常任委員会
		総務文教常任委員会

町国保病院の運営改善は

町民の意見を真摯に受け止めて

秋間 紘一 議員

質問

本年度より医師5名体制で診療体制の強化が図られたが、町唯一の医療機関として町民の命と健康を守るため町国保病院を今後どのような方針で運営していくのか。

小林町長答弁

町国保病院の果たす大きな役割である初期、救急への対応、保健予防活動との連携を徹底しながら医療サービスの向上を目指すとともに、経営改善に努めたい。

質問

町民が求める病院とは、いつでもかかれるかかりつけ医としての病院、相談にのってくれる家庭医としての病院、症状に応じて専門医等を紹介してくれる病院、急



更なる経営改善が望まれる町国保病院

病はすべに診てもらえる病院である。町国保病院がたとえ赤字でも町民から安全、安心のためのコストであると理解が得られ、誰もが必要だと思える病院を目指してはどうか。

小林町長答弁

町民の皆さんから「おらが町の病院」と信頼されるよう、いろいろな意見を真摯に伺いながら病院運営をしていきたい。

委員会調査報告

総務文教常任委員会

教育委員会の分掌事務について

◎調査期日及び場所

4月24日／5月8日／
6月11日 委員会室
5月24日 町内施設

◎調査の経過と概要

委員会は、本町の教育部門を担当する教育委員会の分掌事務について、現状及び課題を把握するため調査した。

◎所感

1 学校教育グループに関する事項

①児童・生徒数は少子化に伴い減少傾向であり、小規模校間では集合学習や少人数ならではの特徴ある教育実践に取り組まれているが、少人数による課題もあり、教育委員会として常に児童目線に立った遺漏なき対応をされたい。
②教職員住宅の一般への賃貸

2 社会教育グループに関する事項

①「学童保育に関すること」は子ども課に所管替えされているため規則の改正が必要である。
②陸サッカー場について、利用者の安全を考えフェンスの設置など、環境整備が望まれ

る。芝の整備については対応はされているが、芝の養生期間も必要なことから総合グラウンド多目的広場の利用状況と併せて町民のニーズにあった管理体制が必要である。また、中央中学校のサッカー場については、使用も整備もされていないが有効活用の検討を行うとともに環境整備に努められたい。

③ふるさと資料館、伝統農業保存伝承館については、貴重な資料が展示されているが、更なる充実を図るため資料の収集に努め、講座の開催など積極的な施設の利用を望む。また、ふるさと資料館は、資料館としての機能を生かすには常時あるいは定期的に関開館し、多くの人に土幌の歴史に触れる機会を増やすことも必要である。社会教育中期計画の中に柏樹大学について「高齢者の豊かな経験や学習成果を生かした活躍の場が不足している」との報告があるが、施設の運営に高齢者の豊かな経験を生かせるような取り組みも考えられたい。



かけ橋

特別委員会設置で 商店街の活性化を

土幌町商工会 会長 中村 貢さん

この度開催されました平成24年度(第52回)通常総会において、大口前会長の後を受け、会長に選任されました。

就任にあたりまして、今あらためてその責任の重大さを痛感しております。

副会長並びに理事各位と一致団結し、会員皆様方の絶大なご支援、ご協力、並びに町議会等関係機関のご指導を賜い、その重責を全うすべく決意も新たにしているところであります。

私も商工業者を取り巻く環境は依然として厳しく、商工会といたしましては、町の活性化と地域振興を推進する地域の総合経済団体ということをご自覚し、その重要性を認識して、役員はもとより、会員皆様方の積極的活動の下で、

厳しい状況を切り開いていきたいと考えております。

その中で、従来に増して小規模事業者の商況の回復発展

と地域の振興に向けて、近年の景気経済対策に呼応した、経営の改善や新しい事業経営の取組みの指導などその役割を果たし、「頼られる商工会」を目指していかなければなりません。

このような状況を考え、当会の今年度の重点対策として商店街振興対策・地域特産品等の販売場所・商工会自主財源の三点を掲げ、これらの検討機関として、三つの検討特別委員会を設置し、そのメンバーは役員・会員で構成し、なおかつ、必要に応じて外部からの招へい委員も加え、積極的なアイデア、意見、討論

を重ねていく中で、方向性を見出ししていきたいと考えています。

非常に厳しい時期ではありますが、各関係機関の皆様方には、今後とも商工会の諸事業や活動に対し、ご理解あるご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げ結びさせていただきます。

サンデー議会を 9月9日(日)開催予定

9月定例会では、日曜日に議会を開き、一般質問を行います。
※詳しくはチラシでお知らせします。
みんなで議会を傍聴しましょう



清水議員

大西議員

議員 秀雄 清水
議員 米明 大西
**自治功労者
表彰**

町村議会議員として、25年以上の長きにわたり地方自治の振興発展に尽くされた功績で、北海道町村議会議長会より自治功労表彰が贈られ、第2回定例会の冒頭、本会議場において伝達されました。



平成24年第2回定例会の内容を中心に、議会だより145号を編集し、町民皆様の手元にお届けします。

今回、3件の条例改正のうち認定ごとも園条例が改正されました。「子ども手当」の支給により年少扶養控除等が廃止となり、保育料の大幅な値上げとならないよう平成24年4月1日から適用されるものです。子育て世代の方々により良い効果があるよう期待するものです。補正予算の中では、5月上旬の大雨による被害で2888万円の災害復旧費が可決されましたが、近年の激しい気候変動による被害の発生が危惧されます。

また、紙面の中に議会を傍聴された方々から頂いたアンケート内容を掲載させていただきました。議事に対して様々なご意見やご感想をお寄せ下さいましたことに感謝申し上げます。今後、多くの方々に議場へ足を運んでいただき議会の活性化や広報誌の充実に努力していきたいと考えておりますので、町民皆様の忌憚のないご意見やご感想をお願い申し上げます。

加藤 宏一